



27 スリランカ 環境対策支援事業

民間企業の環境対策投資を促進し
スリランカの環境改善に貢献

承諾額／実行額 27億3,000万円／24億円
 借款契約調印 1998年9月
 借款契約条件 金利0.75%、返済40年(うち据置10年)、一般アンタイト
 貸付完了 2004年1月
 実施機関 国立開発銀行 URL:http://www.ndbbank.com/index.html



本事業の目的

スリランカの企業に対し、環境対策のために必要な設備投資資金を低利で融資するとともに、技術面、環境面を補助するコンサルタントの雇用およびトレーニング費用を無利子で融資することにより、同国企業の環境対策にかかる投資の促進を図り、公害防止・緩和を通じた同国の環境改善に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) **a**

本事業において企業の環境対策のために必要な設備投資資金融資については融資件数281件のうち、エネルギー回収・節約、リサイクル等環境保護ライセンス(EPL)の取得・更新を目的とするものは197件であり、うち各参加金融機関より報告された実際のEPL取得・更新数は131件(66%)であったことが確認された。一方、EPLの取得・更新を目的としない投資に対する融資は84件であった。受益者調査(転貸先企業52社対象)では、52社中45社(86.5%)から、本事業実施により設置された環境設備の稼働率が75%以上であることが確認されており、本事業は企業による環境対策のために必要な設備の整備を推進することに貢献していると判断される。また、同調査では、52社中26社が100%、4社が75%以上、導入した設備等によりコストやエネルギーの節減効果等があったとの意見が寄せられている。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

転貸資金使途分布

使途	件数	%
大気汚染対策	10	4
大気汚染対策、廃水処理、資源節約、騒音対策	13	15
エネルギー回収*	3	1
騒音対策	5	2
エネルギー節約*	41	14
エネルギー節約、廃水処理、大気汚染対策、資源回収	28	10
廃水処理	67	23
廃水処理、エネルギー節約、大気汚染対策、資源回収	11	4
工場移転	5	2
リサイクル事業*	21	7
リサイクル事業、廃水処理、騒音対策	3	1
資源節約*	19	7
資源節約、エネルギー節約、排気対策、廃水処理	55	20
合計	281	100

注)*のついた使途はEPL取得・更新を目的としていない。

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。本事業は1988年の国家環境法改正に基づき企業に対してEPL取得義務等が課され、公害の発生源となっている企業が環境対策のために必要な投資を行うことが求められた状況下で計画されたものである。事後評価時点でも、国家環境政策の公表および中央環境庁による環境規制の強化・整備が図られるなど引き続き公害防止・緩和は重視されている。

事業実施の経済性(効率性) **a**

本事業は、事業期間および事業費ともにほぼ計画通りであり、効率的に実施されたといえる。

今後の展望(持続性) **a**

本事業は実施機関の能力および維持管理体制ともに問題なく、高い持続性が見込まれる。研修や外部専門家の指導により実施機関の環境事業にかかる審査能力は向上し、参加金融機関の現金回収率は95~100%と良好であること等が確認されている。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は非常に高いといえる。本事業の提言としては、先行事業にあるリボルビング・ファンドとの整合を図り、よりいっそうの事業効果を発現すべく対策を講じることが挙げられる。

開発途上国専門家の意見

本事業は環境規制強化が進むなか実施され、時機を得ていた。国立開発銀行と中央環境庁が合同で啓発セミナーを行うことで、基金の活用の効率性はより高まったと判断される。

専門家の氏名: Mr. Upali Samarasinghe (民間企業)
 アジア経営大学修士(経営開発)。35年間の銀行業務を経て、現在、セイロンナショナル産業議会のCEO。専門は金融、企業経営等。